

令和6年度 玖珠町教育委員会 グランドデザイン

Discover the Power of Education!



次第

1. 学校教育の原点に返って考えてみませんか？

2. 激しい変化の時代に未来をつなぐのは？

3. 保護者や地域と連携した学校づくり

4. 未来を担っていることに誇りを持ちましょう！

学校教育の原点とは

学校は何のためにあるのか？

☆未来を担う子供たちが、「社会の中でよりよく(幸せに)生きていけるようにする」ため！！

社会を生き抜く力
の養成



未来への飛躍を
実現する人材の養成

この地球の未来を託す子供たちのために

- ☆子どもたちの将来を向据えた視点で、将来の社会人になったときに求められる力とは何かを意識した教育の展開
- ☆これからの教育は、一律とか皆同じ、こうあるべきだなどの画一的な人材育成から脱却
- ☆個別（多様）最適な学び⇒協働的な学び（多様を生かすのが協働）の展開
- ☆常に【未来】を意識して、今、現在、未来を創造しているのは、私どもである
- ☆未来を担う子供たちのためには、その時代の最先端の情報や技術等を取り入れた教育の展開が必要
- ☆そのために、テクノロジーをツール（道具）として活用して、新しい学び方を支えていく
- ☆教育委員会や学校の教職員は 柔軟性（Flexibility）や「困難をしなやかに乗り越え回復する力（精神的回復力）」レジリエンス（resilience）が求められる。

今後、社会において、求められる能力とは

- ◆ “答えのない課題”に最善解を導くことができる能力
- ◆ 分野横断的な幅広い知識・俯瞰力などの能力が、今後一層求められる

(参考:学習指導要領改訂における3つの視点)

- 社会の激しい変化の中でも何が重要かを主体的に判断できること。
- 多様な人々と協働していくことができること。
- 新たな価値を創造していくとともに新たな問題の発見・解決につなげていくことができること。

今までの「社会人基礎力」とは

経済産業省が主催した有識者会議により、**職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力(= 3つの能力・12の能力要素)」**として定義。

前に踏み出す力 (アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

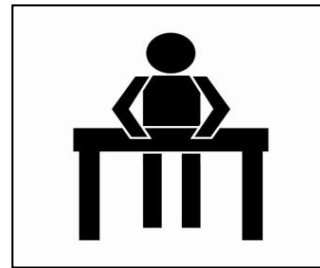
他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

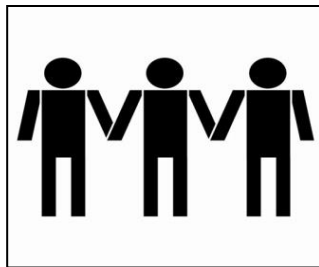
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

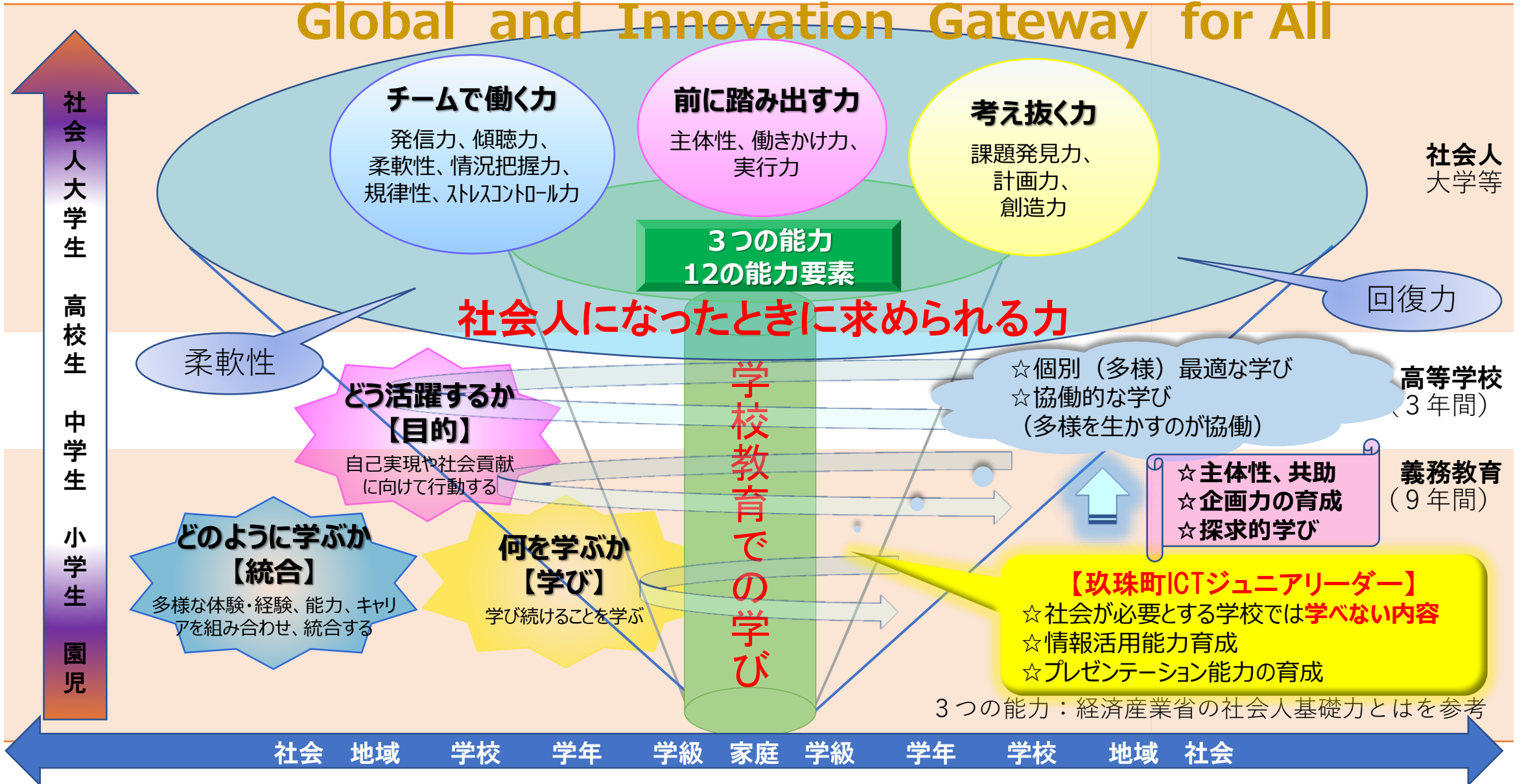
ストレスの発生源に対応する力

Googleや地域と連携による未来を担う人材の育成(どこでも活躍できる担い手づくり)

【イメージ図】

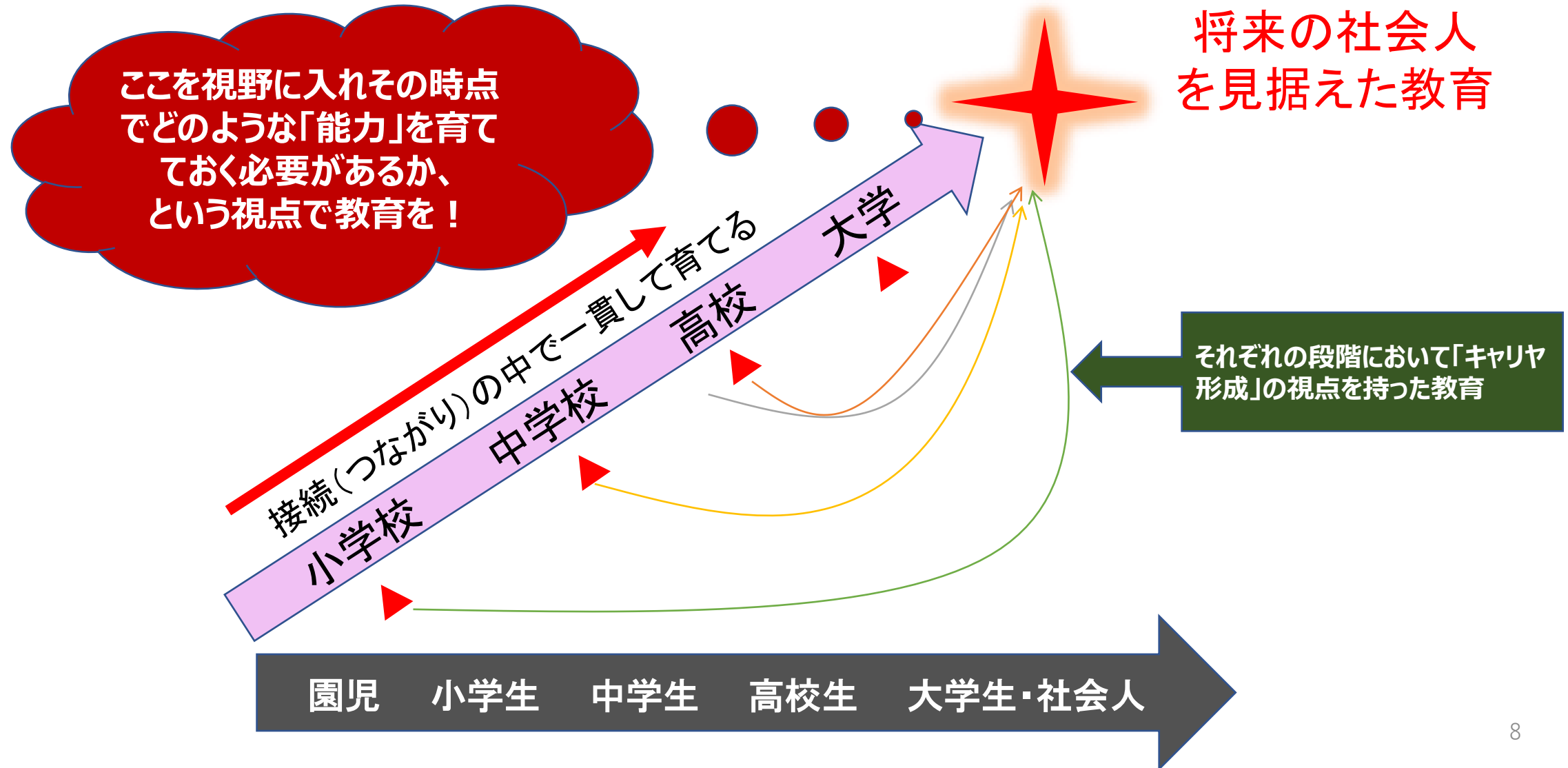
【ステージ】

Global and Innovation Gateway for All



「社会に開かれた教育課程」の実現とコミュニティ・スクール

子どもたちの将来を見据えた視点で教育を！

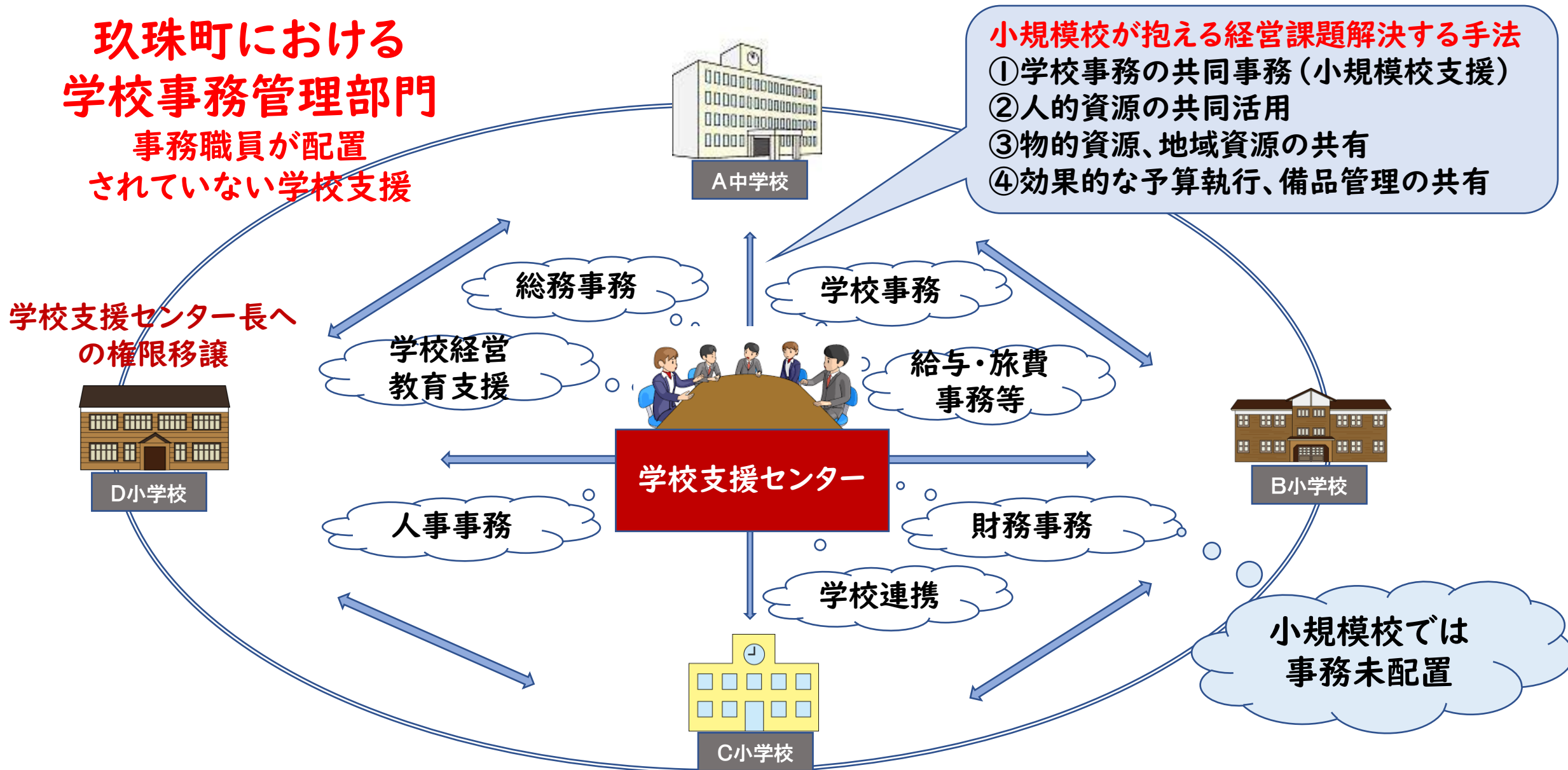


過疎化・人口減少における小規模学校の持続可能な学校支援形態

玖珠町における 学校事務管理部門

事務職員が配置
されていない学校支援

学校支援センター長へ
の権限移譲

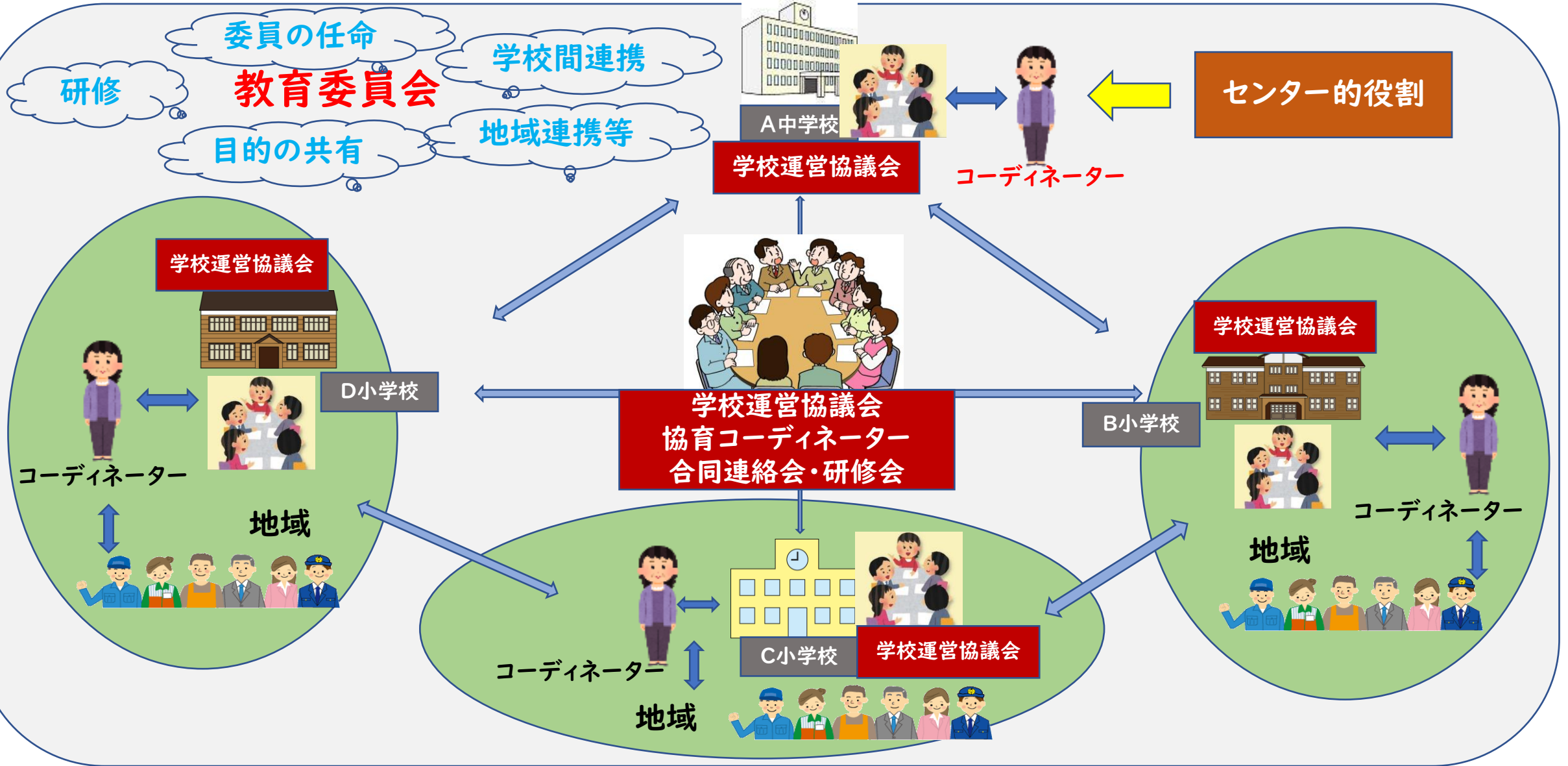


小規模校が抱える経営課題解決する手法

- ① 学校事務の共同事務 (小規模校支援)
- ② 人的資源の共同活用
- ③ 物的資源、地域資源の共有
- ④ 効果的な予算執行、備品管理の共有

小規模校では
事務未配置

玖珠町におけるコミュニティ・スクールと地域学校共同活動と 学校運営協議会の仕組み



学校組織マネジメント研修の構造

体系的に学校組織マネジメント研修を実施することで、目標達成に向けた組織的な取組の推進や基盤としての学校運営体制の確立を図り、「芯の通った学校組織」を構築する

若年期

【基礎形成期・向上期】

主な研修

- ・初任者研修
- ・ステップアップ研修
- ・フォローアップ研修
- ・臨時講師研修 等

中堅・壮年期の教職員にも
求められるマネジメント

セルフマネジメント

- ・教科指導に係る力
- ・学級経営に係る力
- ・コミュニケーション力
- ・組織の一員としての意識

中堅期

【発展・充実期】

主な研修

- ・10年経験者研修
- ・キャリアアップ研修
- ・主任等研修
- ・学部主事研修
- ・学校ミドルリーダー研修 等

チームマネジメント

- ・組織的に学年運営に関わる力
- ・組織的に分掌運営に関わる力
- ・組織的な教科実践力
- ・コーチングの能力

若年・壮年期の教職員にも
求められるマネジメント

壮年期

【深化・円熟期】

スクールマネジメント

- ・学校全体を組織し経営する力
- ・地域や保護者との連携の推進
- ・トップマネジメント
- ・リーダーシップ
- ・ミドルアップダウンマネジメント

主な研修

- ・キャリアアップ研修
- ・教務主任研修
- ・主幹教諭研修
- ・指導教諭研修
- ・管理職研修 等

若年・中堅期の教職員にも
求められるマネジメント

い
ず
れ
も
あ
ら
ゆ
る
世
代
に
求
め
ら
れ
る
マ
ネ
ジ
メ
ン
ト
の
力

地域とともにある学校



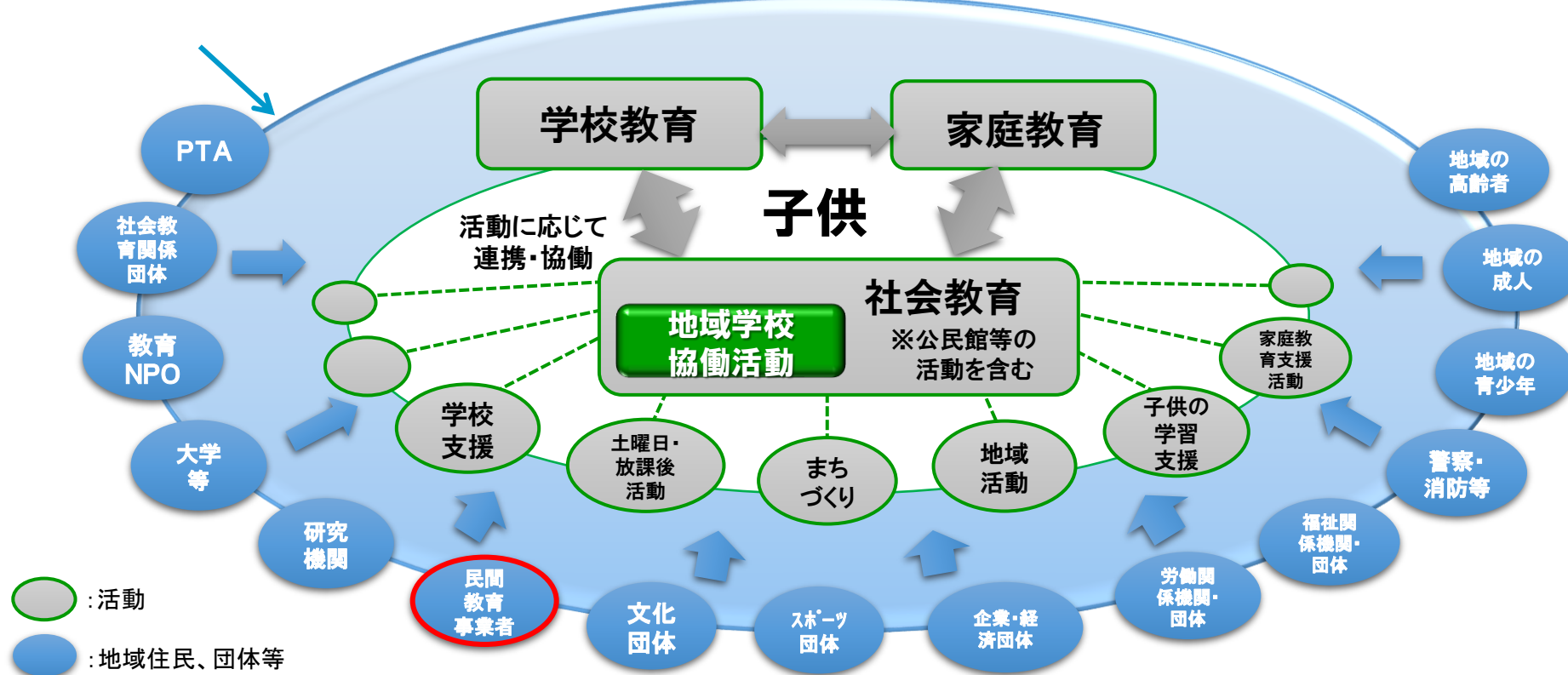
コミュニティ・スクール

文部科学省では、平成29年3月の社会教育法の改正を踏まえ、幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働して地域全体で子供たちの成長を支える「地域学校協働活動」を推進しています。

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

- 次代を担う子供たちに対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- 従来の地縁団体だけではない、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となります。

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成



子ども・地域コミュニティが主体となる教育を

- ☆ 学校と地域を結び付ける地域に根ざした教育内容をもって地域の理解を深める。
- ☆ 子どもや地域住民が、地域のことが好きになり誇りを持てる教育を実施する。
- ☆ 育った地域が懐かしく思えるような教育を展開する。

そのためには



- ☆ 子どもにとって、地域の住民の誰もが先生となりえる参画型の教育が必要
 - ① 地域は経験豊富な人材を有しており、特に高齢者は学校が頼りに出来る人的資源として期待できる。
 - ② 高齢者が地域貢献を担う住民の一人として充実した意識を持ってもらえるメリットがある。首長部局の子ども、高齢者支援関係部署と横断的な連携が必要!
 - ③ 学校と地域が一緒になって共有→熟議→協働のプロセスが重要である

学校を地域コミュニティが安心できる場所に

- ☆学校は地域にとって大規模な施設であり、その**地域のシンボル**でもある。
緊急時などには**地域住民の安全が確保される心のよりどころ**でもある。
- ☆地域コミュニティに**学校が安全で安心できる場所であること認知**してもらう。
- ☆地域の中核的な公共施設としての役割を担っている学校は防災拠点としての整備・機能におけるハード面は当然のことで、ソフト面においても、地域住民に「**学校に行けば危険から避難できる安全な場所**」という意識してもらうための⇒ **学校・地域合同防災訓練等**を学校中心に実施することも重要である。
- ☆このプロセスは、学校が単独で実施できるものでなく、**学校・地域・関係機関との緊密な情報共有及び連携・協働が不可欠**である。

これからの「学校とともにある地域づくり」 「防災教育」について

学校の緊急対応・ 防災機能強化

- ・ 初動対応に対する防犯・防災の対応体制の整備（共有）
- ・ 避難所運営の移行のタイミングと判断や責任分担の明確化
- ・ 「避難所運営」から早期に通常の「学校運営」に戻す

学校を中心とした 地域づくり

- ・ 「学校がなくなるとコミュニティ（繋がり）がなくなる」危機感
- ・ 地域の特有性を活かされた魅力ある学校づくりをめざす
- ・ 学校を複合化（図書館など）、余裕教室を地域住民へ開放する等
地域の交流場とする（教委と首長部局との横断的な連携・協働）

防災教育

- ・ 普段の生活の中で子ども・地域住民が自ら判断・行動できる防災教育
- ・ 防災だけでなく地域の理解や地域で活躍する人々のこと（キャリア教育）を学ぶ

※地域のコミュニティの参画、情報共有、地域の理解、関係者の連携が重要ポイントとなる。

登山でのことを 思い出してください



Q. 登山中は皆さん
すれ違いに、よくあ
いさつをするの？

チームワーク

しかし、下界では？

常に新鮮な視点でみんなで共有しましょう

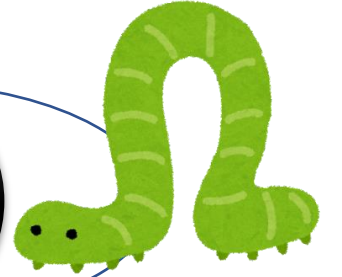
細部にこだわらず、
全体像をとらえる。

鳥の目

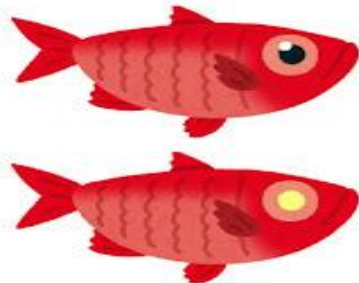


普段見過ごしている
細部に目を向ける。

虫の目



時代がどちらの流れ
であるかを意識する。



魚の目

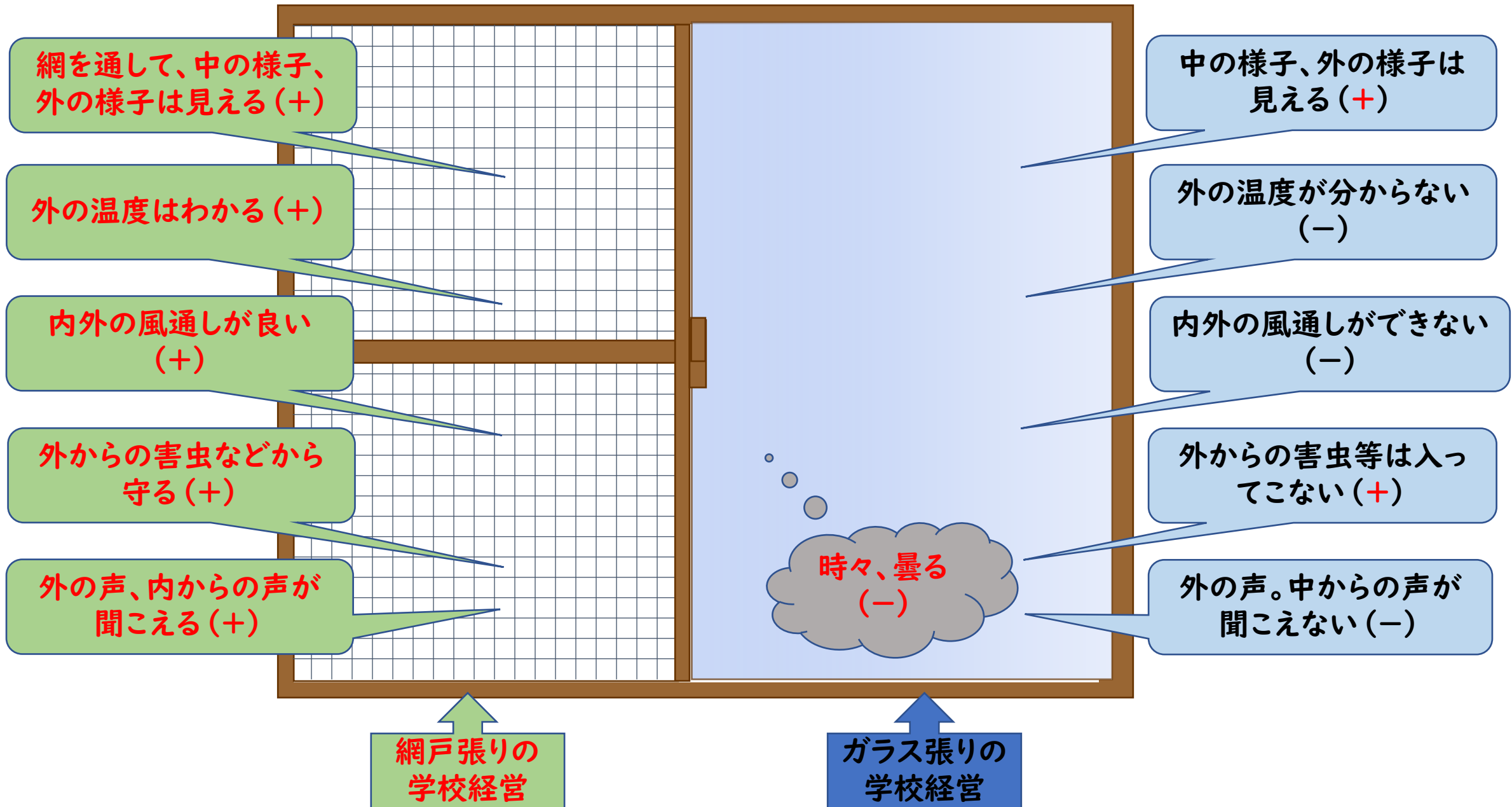
潮流 マクロ ミクロ

新しい発想

地域の学校は、地域のみんなで作る



ガラス張りの学校経営から網戸の学校経営へ



子どもは将来地域を担う人材！ 教育は地域社会を動かすエンジンとなる人を育てる



「**教育は国家百年の大計**」
その鍵を握っているのが**教職員**
「**自信と誇り**」を持って明るく元気で活気ある
学校づくりをしましょう。

GIGAスクール・リーディングDXスクール等のICT教育推進

コンセプト

ICT活用

【オンライン授業等】

持続可能な開発のための教育(ESD)の推進



郷土教育

【地域人材】

子ども
の学び

自然体験

【地域資源】

環境教育

地域課題

【地域産業を学びの場】

キャリア教育

人間の究極の幸せの4つ

1. 人に愛されること。
2. 人に褒められること。
3. 人の役に立つこと。
4. 人に必要とされること。

人づくりのヒント
はここにあり

★信じ合うこと
★助け合うこと
★違いを認め合うこと

久留島武彦の教え

日本理化学工業は学校で使うチョーク製造を主とした会社で、全従業員81人中60人の知的障がい者が働いている。「障がいを持っている人たちは、施設で大事に保護されるより、企業で働きたいと考える」


日本理化学工業の創設者 会長の大山泰弘氏の言葉
禅僧のことばより



すべては子どもたちのために
～未来へのバトンを渡すために～

御清聴ありがとうございました。





大分県
玖珠町教育委員会

Kusu Town Board of education